

看護支援システム SBS NICE (ナイス)

8. 看護・介護系 弊社 PrimeKarte または PrimeOrder 稼働が前提

■ユーザーに「やさしい」画面配色

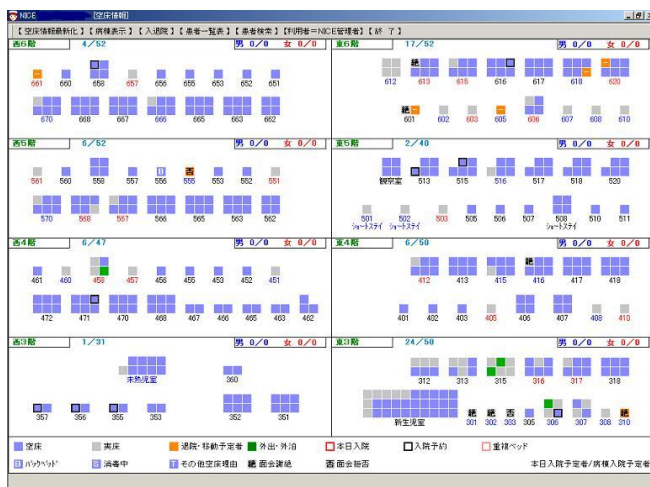
■各種サブシステムも充実

■ベッドサイド病務を協力支援

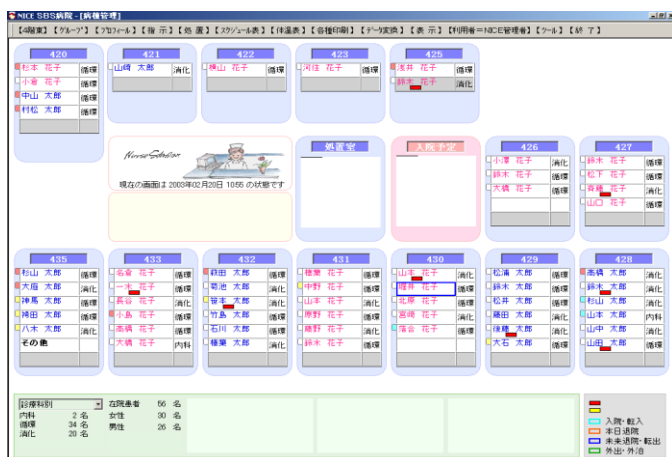
■療養型病院機能を搭載

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

院内全体画面（右画面）



NICE 基本画面



【運用イメージ】

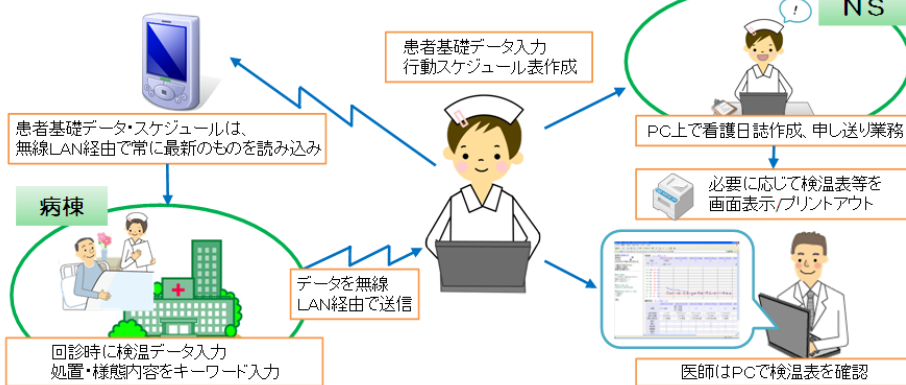


看護支援システム 「NICE」のご提供



看護支援システムは、看護師各自が携帯端末やノートPCをもって回診し、患者の体温や血圧、脈拍等の基礎データを入力します。入力したデータは無線LANでサーバへ転送されます。回診時も、常にサーバから端末へデータを無線LAN経由で転送し、最新の状態にします。これまでの煩雑なデータ入力を省力化し、看護師の交代に伴う「申し送り」手続きも効率化できます。

「NICE」を用いた看護業務フロー



メリット

- ・看護業務の効率化
- ・時系列データベース化
- ・検索スピードアップ
- ・転記ミスが少ない
- ・データの集計、加工がしやすい



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

データ交換規約：HL7 (Ver2.5) / 患者基本(ADT) 各システムとの連携に利用可能

データ交換手法：TCP/IP ソケット、XML ファイルに対応

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

【サーバ構成】

Windows Server 2003 (R) 日本語版以降

【クライアント構成】

Pentium (R) 以上の Intel (R) プロセッサ (Core2Duo 以上を推奨)

Windows (R) XP SP2 日本語版以降

512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様及び部門システムベンダ様との打合せ (仕様の確定まで) ・半年程度

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

500 万円～ (パッケージ費用) + 連携 SES (カスタマイズ費、機器費・交通費除く) (※税別)

9) 保守の内容と費用：

初期教育：看護師向け講習会開催

初期導入保守：稼働及び運用開始立会い

遠隔保守：ルータ及び遠隔監視ソフトによるリモートメンテナンス (電話回線費用は別途)

通常保守：月額 3 万円～ (電話等による Q A 対応。サーバの定期監視、障害発生時訪問による交通費除く)

(ハード保守費除く)

(※税別)

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

問合せ先：株式会社 S B S 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL：054-283-1450；FAX：054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp